



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月22日

(東証JASDAQ コード：2340)

株式会社極楽湯ホールディングス

＜本日のご説明内容＞

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 国内の展開・企画イベント
3. 中国の展開
4. (参考)会社概要・国内の温浴業界

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

- 1、売上高 中国7-9月(期ズレ調整による3か月計上)と新規出店等で増収
(前年同期比+12.9% : 78億26百万円)
- 2、営業利益 中国7-9月(閑散期)の営業損失と新規出店コスト等で減益
(前年同期161百万円から471百万円ダウン : ▲310百万円)
- 3、日本は、6月に温浴施設直営店4年ぶりオープン(RAKU SPA GARDEN 名古屋)
既存店は大型台風や地震の影響があったものの、概ね堅調に推移
- 4、中国は、2月に4号店目となる直営店オープン(極楽湯 嘉定温泉館)
既存店は1-9月増収増益、上海1号店・武漢店・嘉定店で宿泊サービス開始

※当期(2019年3月期)業績について

中国3か月の期ズレを調整

中国は2018年1月から2019年3月までの15か月が連結対象

2019年3月期 第2四半期決算業績

- ①売上高は、中国7-9月(期ズレ調整による3か月計上)と新規出店等で増収+12.9%
- ②営業利益は、中国7-9月(閑散期)の営業損失と新店コスト等で▲471百万円の減益
 経常利益は、営業損失と為替差損(約1億円)等の計上により▲523百万円の減益
- ③期ズレ調整により中国2019年1-3月(繁忙期)計上を見込むため通期予想変更なし

(単位：百万円)

	2018年 3月期 第2四半期	2019年 3月期 第2四半期	前年同期比		2019年 3月期 予想	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	6,930	7,826	+896	+12.9%	16,760	46.69%
営業利益	161	▲310	▲471	—	900	—
経常利益	93	▲430	▲523	—	800	—
親会社株主帰属 当期純利益	17	▲316	▲333	—	400	—

期中平均為替レート
 2017年3月期第2四半期 1元 = 16.34円
 2018年3月期第2四半期 1元 = 16.84円



2019年3月期 第2四半期決算・報告セグメント別

5

- ①売上高は、日本の新店分上乗せで4.4%増、中国7-9月分上乗せ等で40.3%増
 ②利益は、日本の新店コスト等の影響で前年同期比▲176百万円で▲28百万円、
 中国の7-9月分(閑散期)の営業損失の影響で前年同期比▲214百万円で▲187百万円

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	6,930	7,826	+896	+12.9%
日本	5,304	5,540	+236	+4.4%
調整	▲11	▲12	▲1	—
日本(調整考慮後)	5,293	5,527	+234	+4.4%
中国	1,637	2,298	+661	+40.3%
セグメント利益	161	▲310	▲471	—
日本	148	▲28	▲176	—
中国	27	▲187	▲214	—
調整	▲13	▲94	▲81	—

期中平均為替レート

2018年3月期第2四半期 1元 = 16.34円

2019年3月期第2四半期 1元 = 16.84円

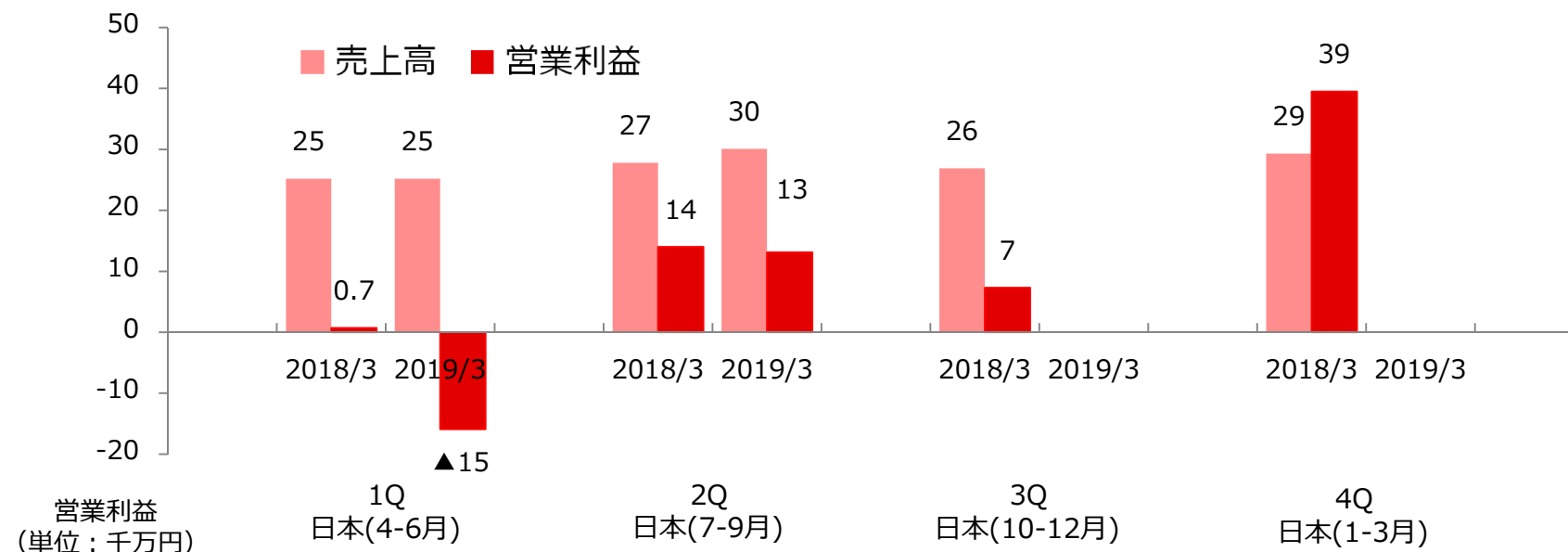


<日本セグメント利益>

- ①当期1Q、6月20日に直営店「RAKU SPA GARDEN 名古屋」がオープン
既存店は、大阪の地震で一部インフラに影響が出るなど前年同期比で▲4千万円
新店オープンに伴う一時費用が重く、既存店と合わせ営業損失は1億5千万円
- ②当期2Q、大型台風等の天候不順があったが既存店は前年同期比プラス
新店立ち上げに伴う追加費用等が出たが既存店と合わせた利益は概ね計画どおり

売上高
(単位：億円)

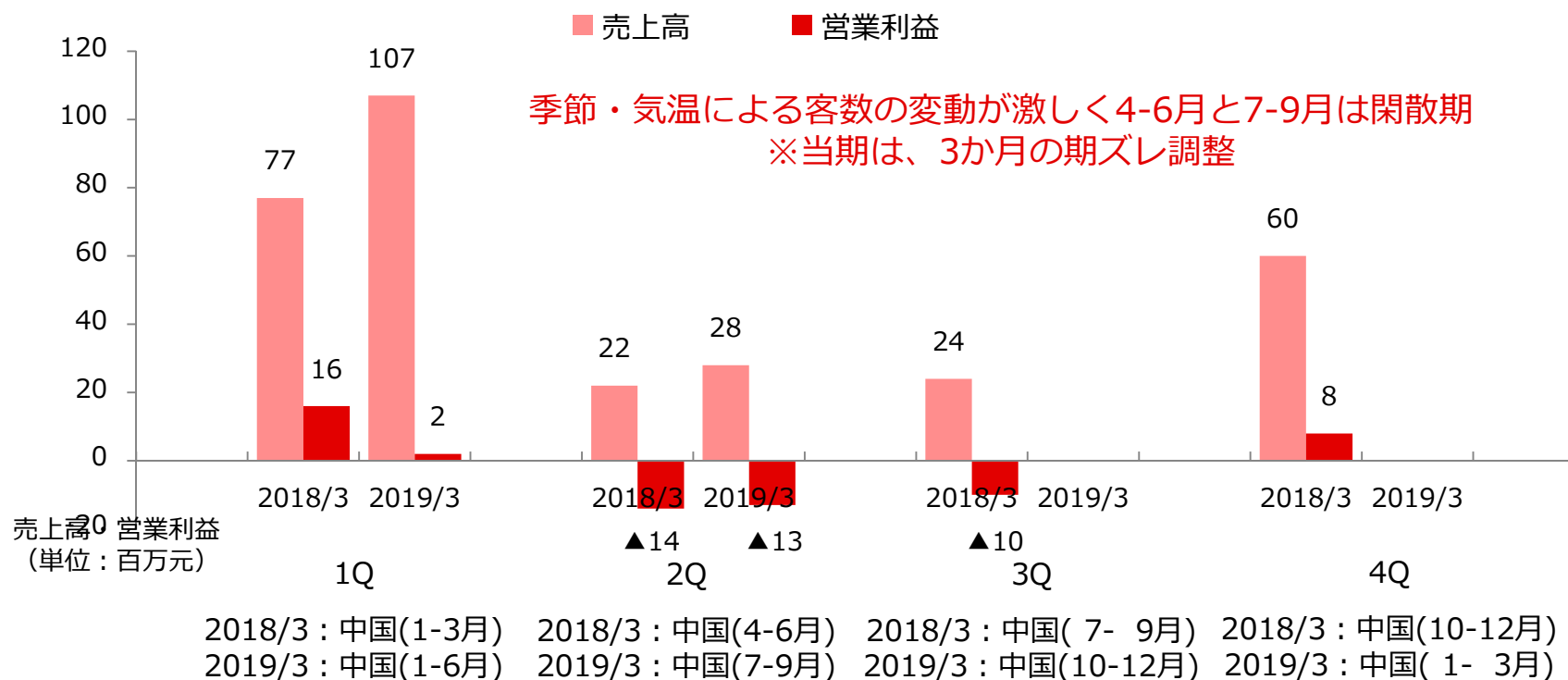
客数と売上は季節・天候で変動があるものの通年で安定する動き



【中国】業績・四半期毎の状況（①現地通貨）

<中国セグメント利益（人民幣）>

- ①当期 1 Q(1-6月)、期ズレ調整により前期 1 Q(1-3月)に比べ4-6月(閑散期)が追加売上高は新店オープン等が加わり40.3%増収、2月オープンの新店コストで減益
- ②当期 2 Q(7-9月)、前期 3 Q(7-9月)と比較すると既存店堅調と新店で4百万元増収、しかし、新店の閑散期による赤字やFC売上計上の減少等により3百万元の減益



【中国】業績・四半期毎の状況（②日本円）

<中国セグメント利益（日本円）>

- ①2018年1-3月(当期1Q)は新店オープンに伴うコスト増もあったが前年に比べると春節が遅く繁忙期が長かったことで既存店の業績が伸び、31百万円の増益となった
- ②2018年4-6月(当期1Q)は閑散期で、FC売上増や宿泊サービス開始等で貢献したが、新店の販促不足等もあり立ち上がり鈍く、前年同期比14百万円の減益となった
- ③2018年7-9月(当期2Q)は前期3Qで単純比較すると、既存店はプラスだったもののFC売上▲20百万円や新店期間利益▲45百万円が影響し、59百万円の減益となった

(単位：百万円)

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
前期 2017年	273 (1Q)	▲246 (2Q)	▲172 (3Q)	4Q		27 (3Q除く)
当期 2018年	304 (1Q)	▲260 (1Q)	▲231 (2Q)	3Q	4Q (2019年)	▲187
差額	+31	▲14	▲231 (前年単純比較 ▲59)	-	-	▲214

キャッシュ・フロー計算書

- ①営業CF、前年同期に比べ▲493百万円減益だが、減価償却費237百万円増加や未払金の増減209百万円の増加による影響で290百万円のプラス
- ②投資CF、当期は新店出店に伴う固定資産の増加等により前年同期に比べマイナス
- ③財務CF、前年同期は日本出店資金のため第三者割当増資による資金調達、当期は中国出店資金のためシンジケート・ローンの銀行借入による資金調達

(単位：百万円)

	2017年 3月期 第2四半期	2018年 3月期 第2四半期	差異
現金及び現金同等物の期首残高	4,638	6,061	+1,423
営業活動キャッシュ・フロー	89	290	+201
投資活動キャッシュ・フロー	▲584	▲3,048	▲2,464
財務活動キャッシュ・フロー	291	479	+188
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲18	▲62	▲44
現金及び現金同等物の増減額	▲221	▲2,341	▲2,120
現金及び現金同等物の期末残高	4,616	3,719	▲897

安定かつ継続的な配当方針、2019年3月期は前期同様6円を予定

(2018年5月18日公表)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)
配当金	6円	6円
配当性向	38.3%	25.9%

※自己株式(100万株=発行済み株式総数の5.72%)の取得 (2018年11月16日)

温浴施設

1.1% 

順位	社名	本社	部門売上高 (百万円)	前年度 比伸び率(%)	決算月
1	極楽湯ホールディングス	東京G	13,962	1.5	3
2	スパサンフジ (湯楽の里・喜楽里)	東京	10,046	▲0.8	3
3	オークランド観光開発(竜泉寺の湯、スオミの湯、喜盛の湯ほか)	愛知	7,838	4.6	4
4	常磐興産 (スパリゾートハワイアンズ)	福島	5,230	4.9	3
5	創裕 (ぼかぼか温泉ほか)	香川	4,030	3.7	3
6	東京ドーム (スパ ラクーア)	東京	3,026	▲7.5	1
7	カケン (喜多の湯)	愛知	2,751	▲3.2	3
8	サンリク (健美の湯)	埼玉	1,951	▲4.0	3
9	タカチホ (湯ったり苑)	長野	1,693	▲3.3	3
10	コシダカホールディングス (まねきの湯、らんぶの湯)	東京G	1,637	5.5	8
11	リラフル (湯花楽ほか)	神奈川	1,474	▲5.1	3
12	エコナックホールディングス (テルマー湯)	東京GF	1,360	20.7	3
13	亀井工業ホールディングス (湯快爽快)	神奈川	1,184	▲0.3	9
14	マンテンホテル (満天の湯)	富山	983	▲2.4	9
15	東急スポーツオアシス (スパガーディッシュ)	東京	623	1.5	3

【温浴施設】スーパー銭湯や大型温泉などを運営している有力企業が対象

(「日経MJ」2018年11月14日(水)より転載)

温浴施設を展開する業界

温浴施設の売上高は1.1%増
カフェのような軽食メニューや、
美容関連のサービスを増やすことで
女性や若者を取り込む動きが進んでいる

**当社は日本国内で
店舗数No. 1, 売上No. 1**

(「日経MJ」調べ。当社売上は海外含む。)

<本日のご説明内容>

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 国内の展開・企画イベント
3. 中国の展開
4. (参考)会社概要・国内の温浴業界

2. 国内の展開・企画イベント

RAKU SPA GARDEN

2018年6月20日 オープン



愛知県名古屋市名東区平和が丘1丁目65番地-2

営業時間：

[平日] 10:00～深夜2:00 (最終受付 深夜1:00)

[土日祝] 6:00～9:00 (最終受付 8:30 閉館 9:00)

10:00～深夜2:00 (最終受付 深夜1:00)

電話番号：052-769-1126

【国内】新規出店①



 **RAKU SPA 101** 銭湯

2019年7月 オープン予定



【国内】新規出店②



RAKU SPA1010



(Google マップより)

JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩5分
東京メトロ・千代田線「新御茶ノ水駅」 B2出口より徒歩5分
東京メトロ・丸の内線「淡路町駅」、都営・新宿線
「小川町駅」 A5出口より徒歩5分

【国内】既存店の取り組み①

茨木店：7月23日～27日、休館日を設定して改装
（極楽湯店舗初の「遠赤外線オートロウリュサウナ」を導入）

天然温泉高濃度炭酸泉



天然温泉鉱石風呂



オートロウリュサウナ



脱衣場（ロッカー、床入替）



スチームサウナ



【国内】既存店の取り組み②

18

①電力需給契約の見直し（2018年8月、9月～）

関西エリア5店舗と関東・中部エリアの15店舗の直営店にて

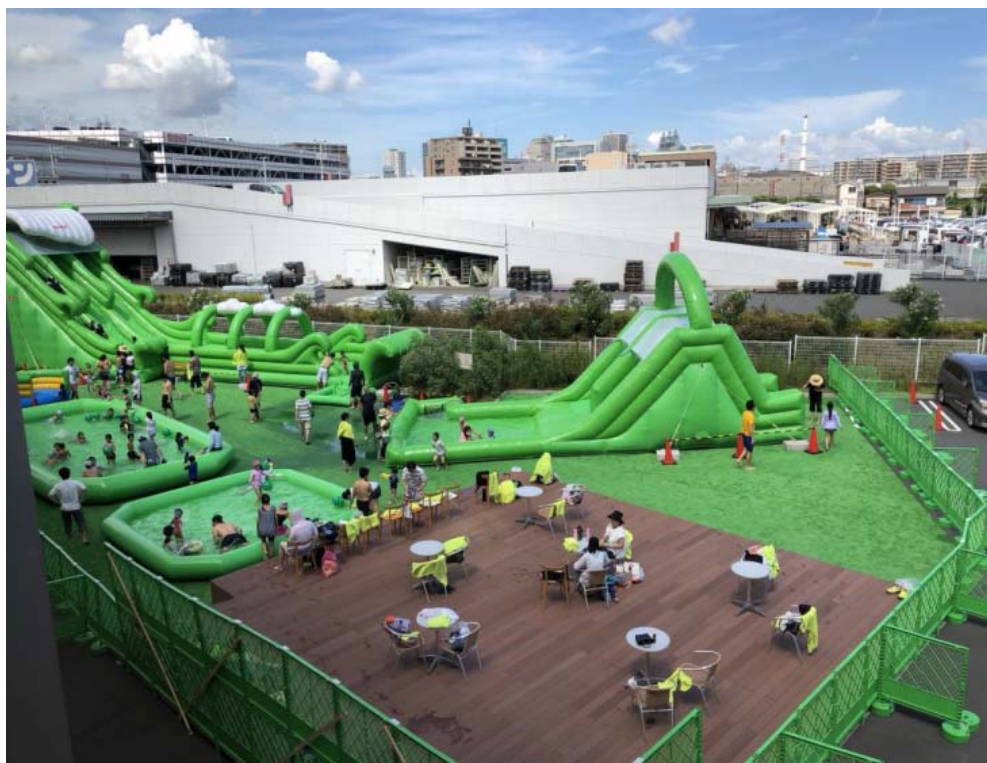
②ガス受給契約の見直し（2018年8月～）

関西エリア5店舗の直営店にて

⇒ 直近の実績から年間トータル約3千万円のコスト削減を見込み、エネルギーコストに関する契約の見直しを進めた



“夏” 期間限定「Water Park」実施 (昨年続き、RAKU SPA鶴見・限定)



去年からさらに
パワーアップして再登場!!

通常料金 800円
船内利用者 500円

夏休み特別イベント

Water Park

ウォーターパーク

2018.9.2日 まで

11:00~17:00 3部制 たっぷり90分

1部:11:00~12:30 2部:13:30~15:00 3部:15:30~17:00

弾む!
エア遊具

安全ふわふわ
スライダー!

水着の
レンタルあり!

※写真はイメージです

<本日のご説明内容>

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 国内での展開・企画イベント
3. 中国の展開
4. (参考)会社概要・国内の温浴業界

3. 中国の展開

<宿泊サービスの開始>

- ①金銀潭温泉館（海外3号店・武漢市）4/29~
- ②碧雲温泉館（海外1号店・上海市）5/1~
- ③嘉定温泉館（海外4号店・上海市）7/1~



新規のFC契約2件（太倉市・上海ディズニーエリア）と直営店
「極楽湯 嘉定温泉館」のフランチャイズ化



2018年2月に上海市嘉定区で開業した直営店だが、現地パートナー様からの強い要望により出資割合を引き上げるとともに、中国子会社とフランチャイズ契約を締結へ

＜開業済み店舗＞ 直営3店舗、FC4店舗

直営 ①上海（碧雲温泉館、金沙江温泉館）
②武漢（金銀潭温泉館）

FC ①青島（青島紅樹林館）
②上海（川沙温泉館、嘉定温泉館）※嘉定温泉館は2018年2月直営店として開業
③無錫（博大温泉館）…2018年10月開業

＜今後の出店予定＞ 直営4店舗、FC5店舗

直営 ①長春 …2018年下期
②上海川沙ホテル …2018年下期
③杭州 …2019年上期
④蘇州 …2019年下期

FC ①上海宝山 …2018年下期
②福州 …2018年～2019年
③太倉 …2019年上期
④上海青浦 …2019年下期
⑤上海ディズニーホテル …2019年上期

(2018年11月22日現在)

「極楽湯 博大温泉館」(中国・無錫市) オープンのお知らせ



2018年10月19日

「極楽湯 博大温泉館」(中国・無錫市) 2018年10月19日にオープンいたしました。

- 名称 極楽湯 博大温泉館
- 住所 中国江蘇省無錫市浜湖区博大・摩登1930
- 営業面積 約13,500㎡(内ホテルエリア3,500㎡)
- 営業時間 10:00～翌2:00(最終入館 翌1:00)
- 入館料金 大人108元、子供58元(一般)



「極楽湯 博大温泉館」は、無錫市中心地から車で20分程度の、中国で有名な湖の一つである「太湖」の近くに位置し、湖対岸には観光スポットとして知られている「靈山大仏」もある事から、周辺人口の他にも観光需要が大きく期待されるエリアに位置しております。

当店舗は、『博大・摩登1930』という大型ショッピングモールの一角に配しており、中国現地企業とのパートナーシップ(FC形式)運営となります。館内には、岩盤浴や飲食・休憩エリアに加え、男女水着でくつろげる大型露天風呂がある温浴エリア、超大型屋外キッズランドを設けております。また、高級ビジネスホテル(全58室)も併設し、近く開業する予定です。

以上

「極楽湯 博大温泉館」(中国・無錫市) 館内写真・店舗案内図



(2018年10月19日現在)

【中国】事業展開⑤

＜中国直営・フランチャイズ出店候補地＞



マークについて



- 📍 開業済み店舗
- ★ 開業予定店舗
- 【FC】
緑枠



【中国】事業展開⑥

＜中国直営・フランチャイズ出店候補地＞

マークについて

-  開業済み店舗
-  開業予定店舗
- 【FC】
緑枠



本資料は、株式会社極楽湯ホールディングスの事業および業界動向に加えて、株式会社極楽湯ホールディングスによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。

すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社極楽湯ホールディングスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年11月22日現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社極楽湯ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。

2018年11月 **株式会社極楽湯ホールディングス**

(東証JASDAQ : 2340)

お問い合わせ先: ir@gokurakuyu.ne.jp



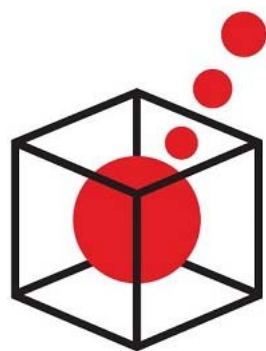
<本日のご説明内容>

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 国内での展開・企画イベント
3. 中国の展開
4. (参考)会社概要・国内の温浴業界

4、(参考)会社概要・国内の温浴業界

(株) 極楽湯ホールディングス 2017年1月1日 誕生

ロゴマーク



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

— ロゴマークに込めた思い —

**極楽湯グループは「ゆ」から始まる
快適癒し空間を創って来ました。**

**今後も、新たな空間創りのため、
「ゆ」のように温かくも、
型にはまらず成長し続ける
私達でありたいと思っています。**

人への温かさ、優しさ。

即ち「癒し」を通じて社会貢献を果たします。

日本から世界へ。

人や自然との調和を大切に。

その先の成長へと向かい、発信し続けていきます。



国内NO.1温浴施設チェーン（店舗数日本一）

「極楽湯」「RAKU SPA」ブランドで 国内39店舗(直営24・FC15)の温浴施設運営

中国で温浴事業（直営とフランチャイズ展開）

人口世界No.1であり、高度経済成長国の中国に2011年に進出
2013年、上海に海外1号店をオープン。現在直営4店舗(上海3・武漢1)運営
2017年11月、中国でのFC1号店となる「極楽湯 青島紅樹林館」がオープン
2017年12月、FC2号店「極楽湯 川沙温泉館」がオープン
2018年2月、直営4号店目となる「極楽湯 嘉定温泉館」がオープン
2018年10月、「極楽湯 博大温泉館」（無錫）がオープン

中国での出店を加速しており、発表どおり直営4店舗(長春・上海(川沙温泉ホテル)・蘇州・杭州)とFC5店舗(福州・上海3・太倉)の計画が進行している

(2018年11月22日現在)

極楽湯
ごくらくゆ

「日常生活の延長線上に癒しを提供する」
をコンセプトに展開する日帰り温浴施設。



RAKU SPA RAKU SPA Cafe
RAKU SPA GARDEN

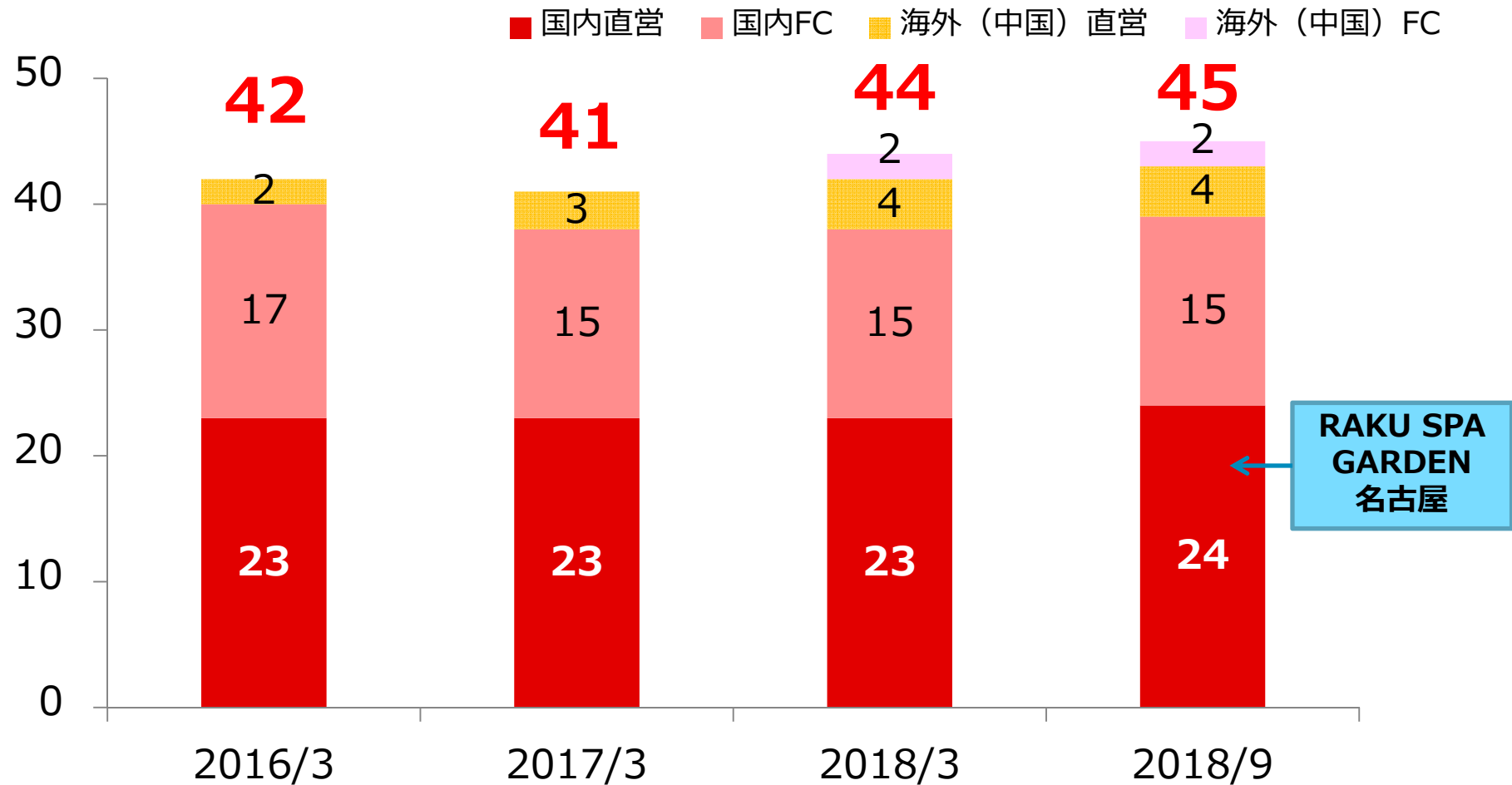
広々とした館内に多くの遊べるコンテンツを盛り込み、
お子様から高齢者まで幅広い世代の方が楽しめる施設。
特にカフェは、風呂屋でありながら飲食店にも劣らない
種類豊富な食事メニューを用意。



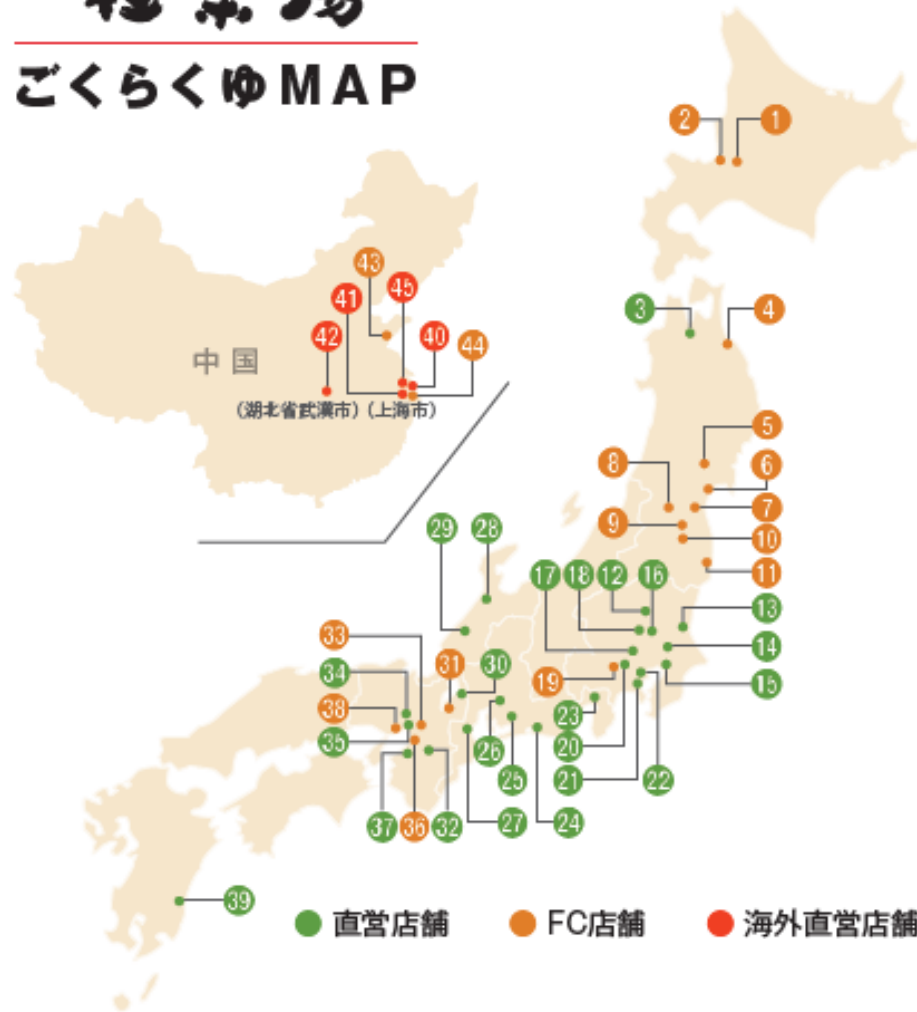
国内の平均店舗の約6倍の広さをもつ館内に
日本の「和」を感じる空間をデザイン、
国内店舗と同等の衛生管理、
癒しなど「おもてなし」のサービスを提供。



国内で新規に直営 1 店舗がオープンしたことにより増加



極楽湯 ごらくくゆMAP



直営28

国内 24店舗
海外 4店舗

FC 17

国内 15店舗
海外 2店舗

計 45店舗

(2018年9月30日現在)

<今後の出店予定>

直営 5

国内 1店舗
海外 4店舗

FC 6

海外 6店舗

計 11 店舗

温浴事業の再強化・拡大

(温浴施設を起点に娯楽ニーズを取り込む)

国内：直営出店＋既存店の補修・改装（進化）

「RAKU SPA」： 滞在型娯楽施設として進化・発展

「極楽湯」： 補修・改装による安心安全・顧客満足度の向上

中国：FC・直営出店＋大規模改装

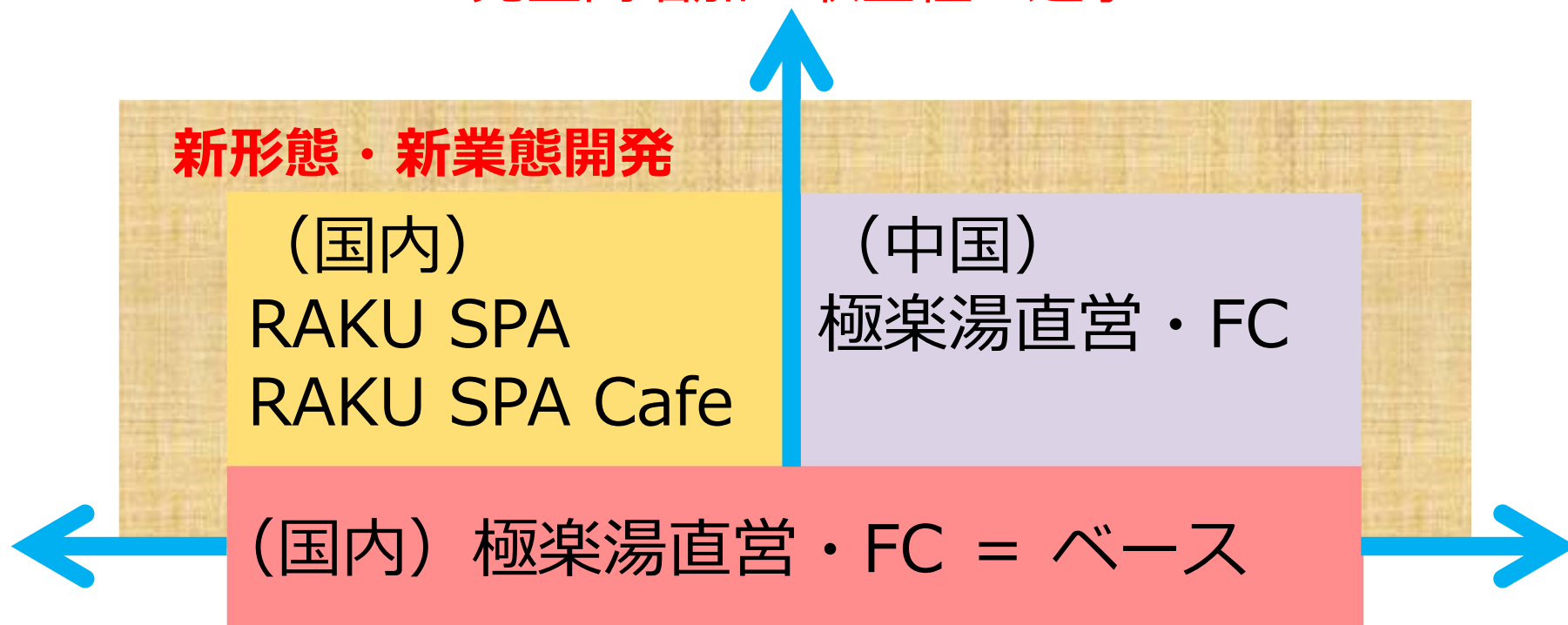
日本式温浴へのニーズは落ちていないが
さらなる収益拡大に向けた直営店の改装と施策の実施
現地事業会社とのFC展開・直営出店の推進

＋ 新業態開発による既存事業への波及効果

外食事業（第1弾：麴町ばらく（蕎麦と天ばらめし））

国内外で市場規模とニーズに合わせて 事業を拡大・推進させていく

温浴施設と付帯施設の展開を軸に
売上高増加・収益性の追求



入館料金 + α のアイデアで収益機会の可能性大

公衆浴場法

一般公衆浴場業

銭湯

地域住民の日常生活の
健康衛生上必要なもの

料金は都道府県が規定
(物価統制令で入浴料金を統制)
大人：350円～450円

その他公衆浴場業

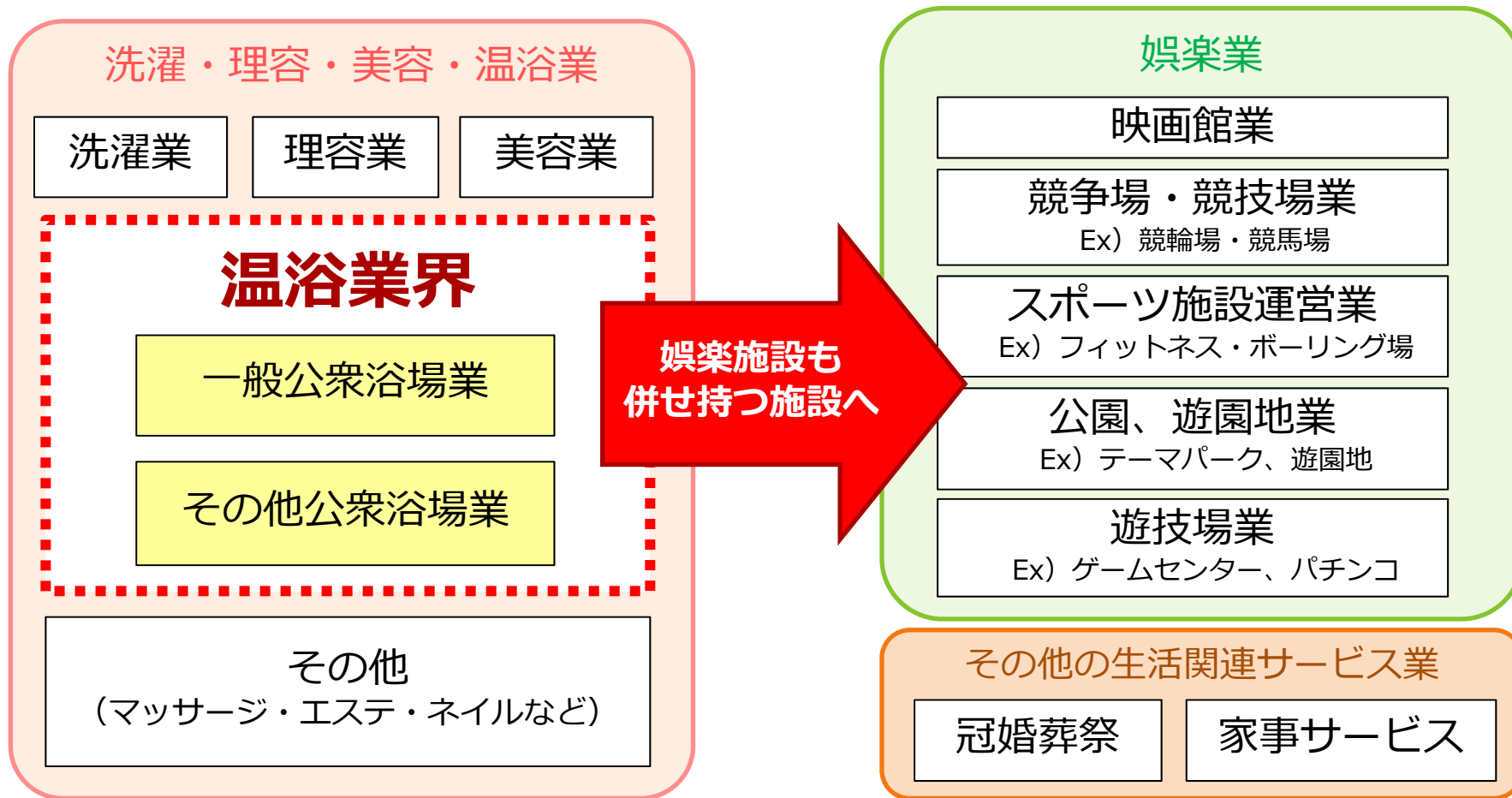
温浴業界

日帰り温浴施設、
スーパー銭湯、健康ランド
サウナ、スパ、クアハウス
など銭湯以外すべて

料金は施設が自由に設定
(物価統制令の適用外)
大人：400円～900円が中心

若い世代など多様なニーズを取り込む動き

生活関連サービス業、娯楽業（日本標準作業分類）



公衆浴場営業許可施設：25,121施設(平成29年度)

うち、一般公衆浴場：3,729施設

1970年占有率：87% ⇒ 2017年占有率：14.8%

(出所：厚生労働省「衛生行政報告例」)

大型レジャー浴場や食事、休憩、娯楽施設も併せ持つスーパー銭湯の増加
ターゲットを明確にして特色ある施設へと差別化、工夫を一層進める

背景

高齢化社会の到来
健康志向の高まり
余暇の過ごし方が多様化
業態のボーダレス化
緩やかな所得改善

当社の展開

- ・ テーブル席の増加
- ・ 炭酸泉、岩盤浴の導入
- ・ 明るい照明、床材へ
- ・ キッズコーナーの充実
- ・ 大型温浴施設の出店
- ・ 飲食充実、専門店の出店

集客・収入・利益の創出
温浴施設（入館料金）

+

利益の補完
附帯施設の利用

事業の特性

- ・装置産業
- ・固定費負担重く、償却費も多い
- ・固定費を下げることで利益増につながる
- ・損益分岐点からのかい離率が大きいと利益が累積的に増加する
- ・原油等の市況価額の変動の影響でコストの変動リスクがある

事業の特性

- ・アイデア・サービス
- ・変動費比率が高いので、増収→増益に直結しやすい
- ・初期投資費用が少なく採算性が見極めがしやすい
- ・継続的な採算性チェックが必要

収益向上への考え方

- ①固定費の引き下げ
- ②集客増による増収効果

収益向上への考え方

- ①生産性を見直し
- ②稼働率の向上